お申込み要領

申込み方法

❶ 下記Webストアからお申込みください。

日本電気協会Webストア **https://store.denki.or.jp**

❷ お申込み後、「受講票」添付のメールを返信いたします。印刷し、セミナー当日受付にご提出ください。
❸ お申込み後、マイページから受講票、請求書、領収書（本会入金確認後）のダウンロードができます。

受講料

30,000円　会員10%OFF➡27,000円（テキスト代含む・税込）

○受講料に昼食代は含まれておりません。
○会員=（一社）日本電気協会会員

※これまでコスト抑制に努め、20年以上受講料を据え置いてまいりましたが、消費税率アップ、諸経費の高騰等により、受講料を改定することとなりました。今後はテキストのカラー化等サービス向上に努めて参りますので、諸事情ご賢察のうえ、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

支払方法

受講料は期日までに下記銀行口座にお振り込みください。
お支払い期日　大阪会場　2020年2月3日（月）／ 東京会場　2020年2月17日（月）

みずほ銀行　銀座支店　普通預金口座　No.1140808
一般社団法人 日本電気協会
※振込会社名は必ず支店、支社名までご記入ください。

申込み締切／定員

大阪会場：2020年1月31日（金）／ 300名
東京会場：2020年2月14日（金）／ 600名

会場のご案内

大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター7階ホール）
所在地：大阪市中央区大手前1-3-49
・京阪「天満橋」駅、地下鉄谷町線「天満橋」駅：1番出入口　徒歩6分
・JR東西線「大阪城北詰」駅：2番出口　徒歩11分
乗換案内
●大阪駅からお越しの場合
・JR大阪環状線外回り「大阪駅」乗車、「京橋」で京阪本線に乗換、「天満橋」下車
・JR大阪環状線外回り「大阪駅」乗車、「京橋」でJR東西線に乗換、「大阪城北詰」下車

有楽町朝日ホール（有楽町マリオン11F）
所在地：東京都千代田区有楽町2-5-1
・JR［山手線・京浜東北線］有楽町駅：中央口または銀座口
・地下鉄［丸ノ内線・銀座線・日比谷線］銀座駅：C4出口
・地下鉄［日比谷線・千代田線・三田線］日比谷駅：A2出口
・地下鉄［有楽町線］有楽町駅：D7a・D7b出口
いずれも徒歩1～2分

※このご案内は、当会セミナーをご受講いただいた方に送付しております。
今後、ご不要な方は、お手数ですが当会事業推進部までご連絡ください。

お問合わせ先
（一社）日本電気協会　事業推進部
〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館4F
TEL 03-3216-0556　FAX 03-3216-3997

ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C012835
www.fsc.org

第52回

電気設備 PMセミナー

テーマ

新時代 令和を乗り切る 電気設備保守点検の核心

成功を掴め！

大阪会場
令和2年2月5日㈬～6日㈭（2日間）
◆大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）
大阪市中央区大手前1-3-49（7階ホール）

東京会場
令和2年2月20日㈭～21日㈮（2日間）
◆有楽町朝日ホール
東京都千代田区有楽町2-5-1（有楽町マリオン11階）

東京会場では、電機メーカー等の出展による資料（パンフレット・実機）展示会が開催されます。

新時代令和を迎え、電気設備保全の現場では今、熟練技術者の退職により世代交代がなされ、今後現場力の低下が予想されます。これを補うために、IoT、AI等のデジタル技術を活用する動きが注目されています。そのような新時代を乗り切るため、今回のテーマを「新時代 令和 を乗り切る　電気設備の保守点検の核心」とし、予防保全技術を駆使し、トラブルを未然に防止するなど、時代を超えた不変の技術とともに、時代に即した新しい技術動向についても紹介していきます。現場目線のセミナーとして、保全に関わる皆さまにとってお役に立つ情報となっております。

後援／経済産業省

協賛／電気保安協会全国連絡会　全国電気管理技術者協会連合会
電気安全全国連絡委員会　全国電気使用合理化委員会
一般社団法人電気学会

主催／一般社団法人　日本電気協会
THE JAPAN ELECTRIC ASSOCIATION

PROGRAM

1日目

10:00〜10:10（10分）

挨拶

●主催者挨拶
（一社）日本電気協会 常務理事
及川 芳樹

●来賓挨拶
大阪会場 経済産業省 中部近畿産業保安監督部 近畿支部長 **古郡（ふるこおり） 靖** 氏
東京会場 経済産業省 商務情報政策局 産業保安グループ 電力安全課長 **田上 博道** 氏

10:10〜10:50（40分）

基調講演

最新！ 電気設備の絶縁技術の核心

電気設備のトラブルには、絶縁劣化が多く関わっています。絶縁材料の特性や劣化メカニズムを把握することは意義深く、絶縁診断技術の修得には必要不可欠です。絶縁材料の基礎知識と絶縁診断技術について、やさしく解説します。

講 師　東京都市大学 大学院総合理工学研究科長 教授 **江原 由泰** 氏

10:50〜16:10（240分）

メーカーパート

メーカーが識（し）る保守点検の核心

司 会　㈱日立パワーソリューションズ 受変電・電機サービス部 テクニカルアドバイザー **丸山 勝也** 氏

「特高遮断器（GIS・GCB）の保守点検の核心」 10:50〜11:50（60分）

特高ガス絶縁開閉装置及び遮断器の期待寿命以上の運用に関して、高経年使用における昨今のトラブル事例を解説し、トラブル未然防止を目的とした延命化処置と、その後の保守点検のあり方についてわかりやすく解説します。

講 師　富士電機㈱ パワエレシステムエネルギー事業本部 千葉工場 CE部CE第二課 課長補佐 **伊藤 裕治** 氏

昼食・休憩60分（11:50〜12:50）

「変圧器（受電用、配電用）の保守点検の核心」 12:50〜13:50（60分）

電気設備として欠かせない変圧器について、さまざまな劣化事象や劣化進展プロセスを事例を交えて解説します。また予防保全に欠かせない保守ポイントや異常診断技術についてもわかりやすく解説します。

講 師　日新電機㈱ 電力・環境システム事業本部 静止機器事業部 変圧器設計部 主幹 **園田 琢哉** 氏

休憩20分（13:50〜14:10）

「スイッチギア（配電盤高圧遮断器）の保守点検の核心」 14:10〜15:10（60分）

配電盤は、工場やビル等に電力を供給する重要なインフラ設備です。信頼性を維持し長期安定稼働させるために必要な保守点検のポイントを劣化メカニズムや劣化事例をもとにわかりやすく解説します。

講 師　㈱東光高岳 電力プラント事業本部 エンジニアリング部 メンテナンスグループ 副課長 **中田 恵二** 氏

「ケーブル（特高、高圧）の保守点検の核心」 15:10〜16:10（60分）

ケーブル線路（直線部、中間部、終端接続部）に対して、経年劣化による突発的な事故を防止するため、適切な時期に更新を行うために用いられる現状の診断技術の特徴および動向を紹介します。

講 師　㈱フジクラ 電子応用技術R&Dセンター 解析技術研究部 解析システムグループ グループ長 **今 博之** 氏

2日目

9:30〜12:10（160分）

ユーザーパート

ユーザーが実践する保守点検の実態

司 会　出光興産㈱ エンジニアリング室 シニアエンジニア 技術士（電気電子部門）、IEEJプロフェッショナル **江藤 計介** 氏

【東京ガス㈱事例】 9:30〜10:10（40分）

東京ガスはLNG導入から50年を迎え、都市ガスおよび発電用燃料供給を担うLNG基地では経年設備対策が課題となっています。本セミナーでは、LNG基地における経年電気設備の保全事例について紹介します。

講 師　東京ガス㈱ 扇島LNG基地 操業部 電気グループマネージャー **大能（おおの） 祐介** 氏

【富士石油㈱事例】 10:10〜10:50（40分）

富士石油の袖ヶ浦製油所は京葉コンビナート地帯に立地し創業50年となる電気設備の概要と保守点検の現状、高経年機器への対応、機器の更新課題について紹介します。

講 師　富士石油㈱ 袖ヶ浦製油所 工務部 計電課 課長代理 **貝保（かいほ） 誠** 氏

【東日本旅客鉄道㈱事例〔駅設備〕】 10:50〜11:30（40分）

JR東日本ビルテックが取り組んでいるJR東日本の持つ駅舎・事務所などの電気設備の現状と、それら設備に対するメンテナンス事例について紹介します。

講 師　JR東日本ビルテック㈱ JR事業部 フィールド事業グループ 次長 **古川 隆幸** 氏

【千葉県企業局事例〔工業用水〕】 11:30〜12:10（40分）

千葉県の工業用水道事業は、給水開始以来既に半世紀が経過し、施設の老朽化対策や耐震対策が喫緊の課題となっております。浄水場で行っている電気設備の維持管理の状況と更新計画の概要等を紹介します。

講 師　**大阪会場：**千葉県企業局 工業用水部 施設設備課 設備管理室長 **小深山（こみやま） 浩通** 氏
東京会場：千葉県企業局 工業用水部 施設設備課 設備管理室 主幹 **石井 篤** 氏

昼食・休憩60分（12:10〜13:10）

13:10〜14:50（100分）

パネルディスカッション

メーカー・ユーザー合同パネルディスカッション

「世代交代後の保守点検のあり方」 13:10〜14:50（100分）

今、現場では過去高度成長を支えてきた熟練の保全技術者もリタイヤし世代交代してきています。また設備も高経年化してきている中で技術伝承がなされたにも関わらず、中堅・若手技術者が不安を感じながら設備の維持管理の任にあたっているのが実態です。このような世代交代後の保守点検のあり方について討議し電気設備の保安の確保のための今後の方策を探っていきます。

司 会　出光興産㈱ エンジニアリング室 シニアエンジニア 技術士（電気電子部門）、IEEJプロフェッショナル **江藤 計介** 氏

パネラー　㈱日立パワーソリューションズ 受変電・電機サービス部 テクニカルアドバイザー **丸山 勝也** 氏

メーカーおよびユーザー講演者

特別ゲスト　富士電機㈱ 技術開発本部 デジタルイノベーション研究所 AIソリューションセンター AI研究部 マシンラーニンググループマネージャー **飯坂 達也** 氏

休憩10分（14:50〜15:00）

15:00〜16:00（60分）

トラブル事例紹介

電気設備のトラブル事例

司 会　櫻井技術士事務所 代表 **櫻井 孝一** 氏

「定期点検時のトラブル事例と対応策」 15:00〜15:30（30分）

定期点検時の停電・復電操作に伴う開閉サージによる、低圧機器の破損事例と防止対策例を紹介します。

講 師　（一財）東北電気保安協会 技術開発グループ **佐藤 直之** 氏

「大規模総合病院での電源喪失事故を経験して」 15:30〜16:00（30分）

受電電源の異常により病院全体が危険な状況（電源喪失など）に陥った時の状態や対応、その後どのように改善したか等を紹介します。

講 師　倉敷中央病院 施設・環境部 電気課 課長 **富永 秀次** 氏

※都合によりプログラムの内容を変更する場合がございますので予めご了承ください。